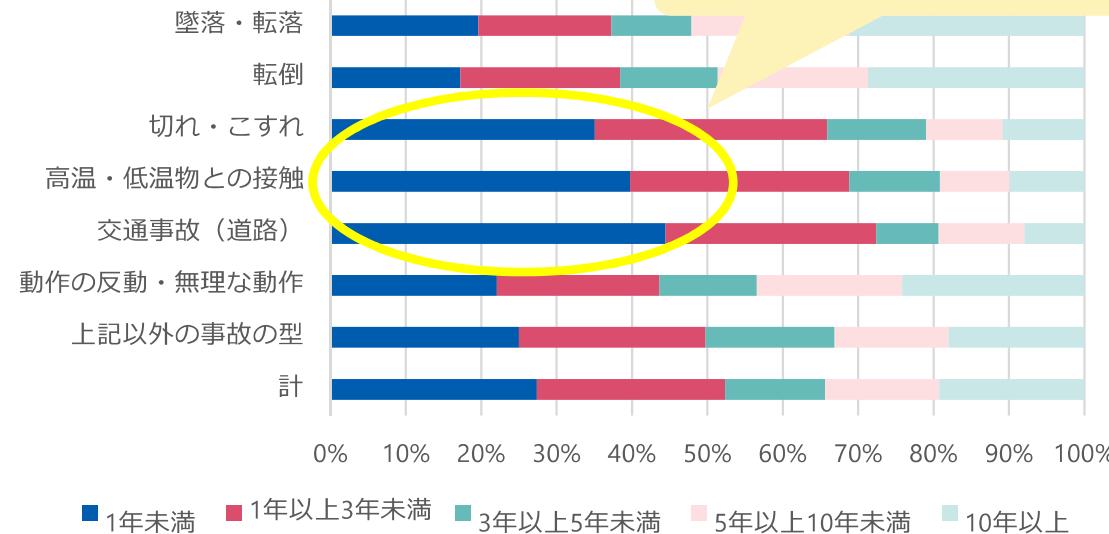


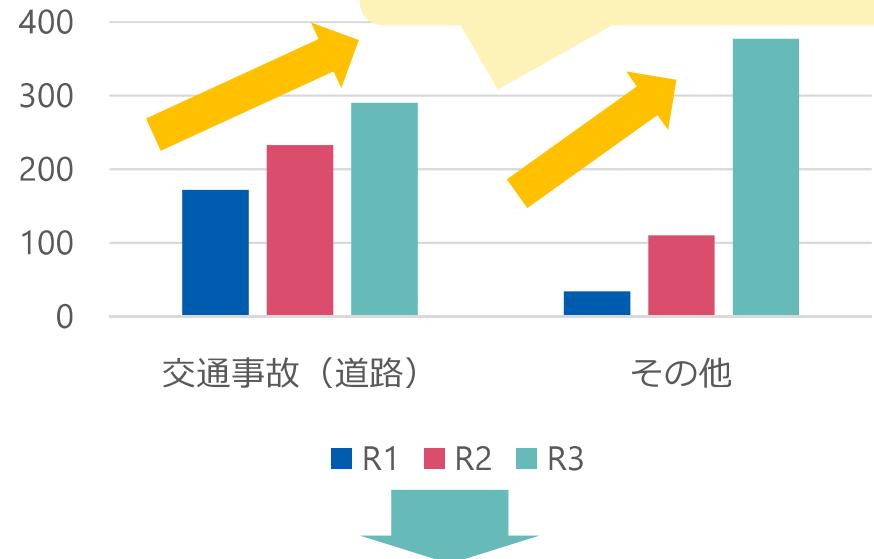
飲食店における労働災害防止対策の徹底について

令和3年における事故の型別及び経験年数別災害発生状況

経験年数が1年未満の労働者の
災害発生率が高い



新型コロナウイルス感染症の影響
により、災害件数が著しく増加



- ・ 営業自粛や倒産などにより雇用者数は減少。
- ・ デリバリーの需要拡大により、交通事故に起因する労働災害が増加。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を含む「その他」で災害が増加。

今後の懸念

今後、飲食店の平常化に伴い以下の観点から災害増加が懸念される。

- ① 接触機会拡大によるコロナ感染
- ② 離職者を補うため、経験が浅い者を雇うこと
- ③ 人手不足
- ④ デリバリー需要の拡大

対策の観点

これらの災害に対して、以下のような対策などを講じること。

- ① 「転倒」の対策として、4Sの徹底。
- ② 「切れ・こすれ」の対策として、刃物から目線を外さないこと。
- ③ 「高温・低温物との接触」の対策として、適した服装の着用の徹底。
- ④ 「交通事故」の対策として、事故が多発している地域を「見える化」するためのハザードマップの作成。
- ⑤ コロナ対策として、バックヤードなどの「3密」防止。